

第7章 活用の方向性と方法

第1節 方向性

磯浜古墳群は、町民や児童生徒、観光客など、複数の対象者を相手に、その価値を広く普及させる活用事業を実践していく必要がある。実践の場としては、史跡磯浜古墳群を歴史公園として整備し古墳時代を体感すると共に、そこに併設する考古学博物館を中核とし、展示や普及事業を行う。それらを通して、磯浜古墳群の本質的価値に自ら気が付き、共有・共感を持って地域への愛着が育つ、シビックプライドの醸成に繋がる。これは『第6次大洗町総合計画』にうたう総合戦略の基本目標とも重なるものである。将来的には、前章で扱った磯浜古墳群の完全保存にも繋がっていくもので、保存と活用とが車の両輪となり機能することになる。人々をこの場に呼び、活用を進める上でも、安全性の確保が重要な責務であり、後章で述べる整備が不可欠となる。

今後の活用の方向性は、大きく分ければ、学校教育・生涯学習・地域振興や観光振興の3つの柱がある。現状と課題を踏まえ、第5章で整理した基本方針に則り、以下にその具体的な方法について整理する。

第2節 方法

1. 学校教育

学校教育現場における活用の実践としては、これまでの経緯も踏まえ、町立の小中学校の児童生徒・高等学校の生徒・大学の学生などを対象として考えていきたい。

区分	対象	活用の方法
学校教育	小学校 中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・町内には2小2中の合計4校の町立小中学校がある。これまで導入してきたGIGAスクールのタブレット端末を利用した遠隔授業は今後とも有効な活用方法であり、現在進めている磯浜古墳群の遺構遺物に関するデジタルツイン技術を導入していく。 ・令和5年3月に刊行した『いばらき古墳旅まっぷ vol.02 磯浜古墳群』などの普及書は、歴史を扱う学年に常に配布し、歴史・古墳時代の授業の中で活用していく。
	高等学校	『総合的な探求の時間』で一部の生徒が題材として扱ってきた。今後は高等学校の社会科などの先生方に磯浜古墳群を知っていただく機会を設け、参加する生徒数を増やしていく。
	大学	・学部生を対象とした磯浜古墳群の保存と活用の講義や発掘調査実習についても、これまで断続的な実施ではあるが、今後とも、機会を作り、連携して考古学徒の育成に寄与していく。

表7-1 学校教育における活用の方法

2. 生涯学習

生涯あらゆる時期に行われる学習活動は、自己学習・教育による学習（社会教育や家庭教育など）など多岐にわたるため、今後は、磯浜古墳群の価値を素材とした生涯学習の機会を拡充していきたい。

区 分	対 象	活用の方法
生涯学習	公民館講座	・古墳の本質的価値について地域の方と共有する大切な活用事業であるので、今後はより多くの町民を対象にして、開催していくのが望ましい。
	高校生会	・今後は地域の一翼を担うメンバーである。毎年夏に開催される考古学企画展の展示や体験講座の趣旨に触れることで、磯浜古墳群の持つ価値を知ることが大切である。所管する生涯学習課社会教育係と連携しながら、多くの会員が参加できるようにしていく。
	各種団体講座	・町内における生涯学習活動に積極的な各種団体と講座や学習会などの機会を通して連携をとりながら、磯浜古墳群の価値を共有していく。
	自己学習	・古墳を身近に感じるようなマップ類や企画展パンフレット等を今後とも定期刊行し、考古学博物館を通して情報を発信し、自ら考古学や古墳に興味を持つ、自己学習の場を育んでいきたい。

表7-2 生涯学習における活用の方法

3. 観光振興・地域振興

大洗町は、大洗磯前神社参詣や潮湯治など、江戸時代以来の観光の歩みと蓄積がある。平成・令和時代においても、海に面した魅力的な観光資源が人々を引き付け、地域の振興が連動している側面がある。

令和時代に入って新しく大洗町の歴史資源として見出された磯浜古墳群についても、歴史公園として整備し、既存の観光資源と連携を図りながら、その一翼を担い、地域振興に結び付くことを目指したい。

区分	対象	活用の方法
観光振興・ 地域振興	史跡探訪 企画展 シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> 考古学や歴史に興味のあるコアなファン層が対象となる場合が多い。磯浜古墳群を扱う史跡探訪や企画展、シンポジウムは、切り口を変えながら、ほぼ毎年、定期的を実施しており、それが集客にも繋がっていることから、一定程度の成果を上げている。ミュージアムトークなども人気があり、今後とも充実を図りたい。 今後とも磯浜古墳群ファンを引き付ける、スタンダードな活用のメニューを実践しながらも、興味関心の無い層への働きかけをどのように進めていけば良いのか考えていく必要がある。
	グッズ製作 販売 キャラクター	<ul style="list-style-type: none"> 磯浜古墳群の関連グッズの製作販売やキャラクターによる広報・関連商品の開発は、様々な人の興味関心に繋がりがやすく、これまでも令和3・4年度夏の企画展の物販などで成果を上げてきた。 今後とも、企画展時の物販を継続しつつ、磯浜古墳群オリジナル商品のラインナップを増やしていきたい。
	広報・マップ類	<ul style="list-style-type: none"> 町商工観光課・(一社)大洗観光協会・まちづくり推進課などと連携をはかり、観光や地域振興などに関わる広報やマップ類に、磯浜古墳群の掲載を進める。
	イベント	<ul style="list-style-type: none"> 普段古墳に足を運ばない町内外の層を取り込むイベントである、(一社)大洗観光協会主催のライトアップイベント『うみまち照らす in 磯浜古墳群』は、協力しながら継続する。 古代を体験するお祭りなどに、磯浜古墳群の価値やその歴史的背景を伝えていくプログラムを、盛り込んでいく。
	SNS	<ul style="list-style-type: none"> 情報の速報性やコアなファンとの繋がりを構築する上で有効ではあるものの、多様な人々を取り込むためには、違う切り口の多義的アプローチを心掛け、周知を進める必要がある。

表7-3 観光振興・地域振興における活用の方法